

# 槍ヶ岳西陵登攀 山行報告書

宇都宮渓嶺会 安野郁子

日時 2024/8/10～12(8/9夜移動 沢渡P 泊)  
メンバー L 鈴木  
SL 谷嶋  
安野



『【初めての槍ヶ岳は西陵から！】心に残ることでしょう！！』  
谷嶋さんに言われたが、楽しみな反面、緊張、不安があった。  
私は、アルパイン経験も少なく、一般ルートでも槍ヶ岳に登っていない。  
しかし、先輩方の胸を借りて成長するチャンスだと思った。  
3000mでのクライミング経験、槍ヶ岳登頂が今回の夏合宿となった。

今回の合宿は10日に上高地から槍ヶ岳山荘でテント泊、11日が槍ヶ岳西陵登攀後、南岳経由で北穂高小屋テント泊、12日が北穂高から奥穂高、前穂高で岳沢下山で上高地入りの予定であった。

かなり欲張り贅沢プランである。私にとってはすべてのルートが未踏であった。

9日夜、8時半出発。23時半着。沢渡第二駐車場はトイレも24H開放しており、駐車場も半分程度は空いていた。標高1000mでそこそこ涼しい。  
寝酒を1本づつ飲み、ハイエース車内で3H程度の仮眠。  
鈴木さんは山力の一つ、『どこでもすぐ寝る』の見本を示してくれた。  
3分程度で寝息。。。もうですか・・??うらやましい!!!!  
一方、谷嶋さんはなかなか寝付けなかったようだ。

## 1日目行程

上高地バス停5:32～徳沢7:15～ババ平テント場10:19～標高2200付近（2H休憩）  
ババ平テント場14:40

朝4時半のタクシーの予定で乗り場に向かったが、先客あり、1時間待ちになると  
言われ、タクシーは諦めてバス乗り場に向かった。始発5時のはずであったが、  
4時45分くらいには乗車、出発できた。  
上高地入り、リッチな徳沢の空気も初めて吸い込み、木陰で気持ち良いアップダウン  
の散策路、林道を十数キロ歩き槍沢ロッヂからの登りが始まった。  
登り始ると木陰ゾーンは少なくなり汗が流れ、重いザックが余計に重く感じた。

標高を上げていくと、谷嶋さんが高山病の頭痛対策で頭痛薬を口にした。  
2000mを過ぎても先頭を歩く谷嶋さんの様子は異常がないように思われたが  
ババ平を超えて、日向の登りでついに吐き気などの症状に襲われてしまった。  
1度休み、「歩かないと着かないな」と自らスタートしたが30分後くらいには  
吐き気や頭痛が悪化したため足を止め、大休止することにした。  
ザックを下すのもままならない状態。顔色白い。しかし日陰ゾーンまで歩けない。  
銀マットを谷嶋さんにかけて日光を遮るようにした。

予定の槍ヶ岳山荘テント場は40張りしかなく、まだ標高もあがるので、今回は  
ババ平に戻ることにした。



2H程度の休憩の間、鈴木さんと『谷嶋さんを背負ってババ平まで下ろそうか』との話し合いもした。

またその間に元気なお猿の軍団が沢をつめている姿もあった。

谷嶋さんが少し回復しババ平まで下る。ロケーション最高なテント場であった。

谷嶋さんは購入したコーラで多少元気になり、黒ラベルを飲めるくらいに回復した。

リーダーも食担も担当した鈴木さんの『お通し』『メイン』は最高だった。自家製野菜の炒め具合、手際の良さ、見習うことだらけである。



新品のテントと原色Tシャツ、映えます★



#### 1日目夕食メニュー (すべてリーダー歩荷★)

ミニトマト・オクラサラダ  
ペミカン (バーチキンカレー)  
アルファ米  
★黒ラベル350

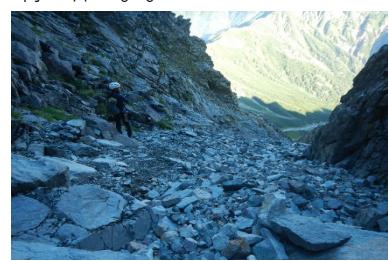
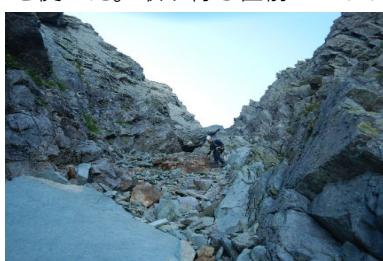
#### 2日目。

##### 2日目行程

ババ平テント場3:00~槍ヶ岳山荘6:12~槍ヶ岳山頂12:30~槍ヶ岳山荘13:45~槍ヶ岳山荘14:30~  
槍沢のボルダー調査16:10~ババ平テント場16:30

いよいよ槍ヶ岳西陵登攀！

ババ平から槍ヶ岳山荘までは約3時間。6時15分に槍の基部からトラバース、ガレの下りをし、取り付きに到着。ガレ沢の下りは先行パーティーがいたため落石には気を使った。取り付き直前のスラブのトラバースは特に怖い。。



小槍の全4ピッチは鈴木さんリード。浮石が非常に多く打音点検しながらの登攀。



1P:5.7 2P:IV

3P : 核心のくの字ジェードルは5.8  
先行パーティーは苦戦していたが・・・。  
リードの鈴木さんは解説しながら  
安野用お助けスリングを取付ながら  
サクサクと核心を通過した。  
『オフィズスです～。』



『オフィズスです～。』が初めてで  
クライミング引き出し品薄だったので・・。  
私は迷いなくお助けスリングを  
使わせていただいた。  
リーダーの判断、すごいです。  
アリガタシ。。



4P：リッジの階段状はなんとなく  
気持ちよく登攀できた。  
小槍到着。  
リーダーが懸垂下降地点で  
ビレイをしてくれていたので  
安心して懸垂地点まで行けた。  
小槍の上でアルペン踊りは  
できなかったが、北鎌尾根や  
周囲の山々が美しかった。  
3000mでのクライミングは  
ドキドキし、やはり息がきた。  
しかしそれよりも楽しい!!



2日目：核心くの字ジェードルを越えて  
振り返ったら谷嶋さんは余裕の写真撮影



## 安定の『命』



## 小槍の懸垂下降地点でビレイするリーダー

5P: IV 谷嶋さんリード 小槍からの懸垂下降を得て曾孫槍の取り付く。

私は「リードをやってみたら」と言ってくれたが、初見の岩はやはり怖い。不安だ。谷嶋さんの安定のリードの後のカムの取り方などを確認しながら登った。

6P:歩き

7P:III 安野リード。

孫槍上部で中間支点の取り方を間違えロープが流れなくなり2mほどクライムダウン。

下調べたりないままのリードで時間を要した。難しくはないが、高度感があり、

多少焦る。カムを決める場所に悩み、登攀ラインがかなり曲がっていたと思う。

孫槍からの7mの階段状クライムダウン時に取るべき中間支点を取っていなかったり  
反省点ばかりである。

8P:II 安野リード。

リードはしたがほぼコンテでも登れる感じであった。

登頂時にはガスが湧いてきた。

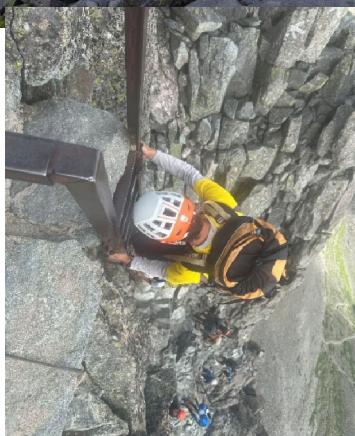


孫槍の上の立つリーダー



初めての槍ヶ岳は西陵から。

間違いなく記憶に残りますね。



槍ヶ岳山荘での1200円パタゴニアビール

一般登山路下山。予想通りの渋滞。一般道登りの方は  
肩から穂先まで2時間かかったそうだ。

下りだけでも30分以上かかってしまった。

槍ヶ岳山荘で缶ビールで乾杯しババ平まで下山した。

ババ平までの途中にボルダーがあり鈴木さんは偵察に行った。

登れそうな石で段レベルの課題だそうだ。



## 2日目夕食メニュー (すべてリーダー歩荷★)

サバのトマト煮 + 玉ねぎ炒め

自家製野菜のパスタ

はごろもフーズ サバのトマト煮は  
リーダーがヨセミテにも持ち込み壁の中で  
大切に食べた品だそうだ。

またズッキーニとナスのパスタもとてもよかった。パスタキューブというサイコロ状の  
調味料は山やが考えた商品だと思う。次の食担のとき使いたい！

18時過ぎると風も冷たくなり、テントに避難した。

行動時間が長かったので早めに就寝した。

### 3日目。

#### 3日目行程

パパ平テント場6:10~徳沢(アイスクリーム休憩) 8:45~上高地バス停10:40

朝5時起床予定が私の平日4:40アラームが鳴ってしまい早めに起きた。  
パパ平から上高地までの移動なので、徳沢でご褒美的ソフトクリームを食べたりした。  
明神橋付近でTAJRの選手を見ることができた。笑顔が素敵であった！  
上高地への散策路はオリオン通りより人が多い！  
上高地に近づくにつれてオリオン通り→宇都宮駅構内→丸の内となっていった。

#### ★安野 感想(反省点)

#### 生活面

リーダーの食糧計画:今回は歩荷トレとのことで野菜なども新鮮なまま上げてくれた。

元気の出るご飯はありがたかった。レシピも参考にしたい。

山力:すぐ寝る(これは難しいがいつかは修得したい)

起きてすぐのテント内の片づけが早い。

#### 縦走、登攀

谷嶋さんの歩く速度や休憩のタイミング。

また二人の、メンバーや周囲を広く見ているから判断が早い。

登攀時も安野がいけるであろうところのアドバイスや核心部でのムーブアドバイスなど。

素早く登攀できるのは安全につながるのはわかっていたがそれができる先輩たちの技術をまねていきたい。

登攀に関してはまだカムのセット、ルート取り、など判断が難しいところが多く、経験をもっと積まなければ主体的に行けないと思った。

ジム通りで多少登攀はしやすくなったと思うが松木の継続などで外岩感覚や支点構築セカンドビレイのロープ操作などを素早くできる技術を磨きたい。

また今回谷嶋さんが高山病を発症した件で応急処置や搬送などの復習も行っていたほうがよいと思った。また荷物を背負える歩荷力、持久力も必要。

本当に心に残った槍ヶ岳となりました。鈴木さん、谷嶋さん、ありがとうございました。  
お二人のような自立したクライマーになるべく精進してまいります。

今後ともご指導宜しくお願ひ致します。



2日目：ボルダー調査中の鈴木さん

